

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	14 07 07	中期総合計画主要施策番号	4-02,4-03	担当課	部・課	教育委員会事務局文化財・生涯学習課	
事業名	県立歴史館事業				内線	4429	
					E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H6 ~	根拠法令等	長野県立歴史館条例、長野県立歴史館管理規則、博物館法				
実施方法	県が直接実施・設備管理会社等へ委託し実施					国庫・県単	国庫補助事業・県単独事業

事業概要等	目的(必要性)	県内の貴重な考古資料・文献史料・その他歴史資料の収集・整理・保存・調査研究を進め、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与する。				
	対象	一般県民、小中高大学生、歴史研究者等				
	目指すべき姿	県下唯一の県立文化財収蔵施設として、県民の教養及び文化の向上を図り、心豊かな県民生活の実現と、伝統文化による魅力と活力ある地域づくりをすすめ、未来に引き継ぐ。				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展・企画展の開催 ・歴史関係講演会・講座、研究会、親子映画会等の開催 ・年報・研究紀要等刊行物の発行 ・考古資料・文献史料等の収集・保存整理・調査研究・情報提供及び調査相談 				

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 需用費:57,262千円 委託料:46,425千円 賃金:18,838千円 役務費:13,338千円
	最終予算額 (A)		千円	158,037	167,643	156,815	
	決算額 (B)		千円	152,375	163,819		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	131,258	135,838	128,204	
	概算人件費	従事する職員数	人	21.00	21.00	20.00	
	概算事業費 (B(H24はA)+C)		千円	327,032	337,237	321,975	

事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 歴史学習で訪れる小中学生等に、より理解を深めるための展示の解説を行った。(H23歴史館利用学校数:297校) (効率指標算出式) 各企画展予算合計 / 企画展数
	企画展開催数 (活)		回	6	6	6	
	講座・歴史イベント数 (活)		回	48	56	67	
	新規収蔵資料数 (活)		点	5,195	5,000	5,000	
	利用者数 (成)		人	92,899	94,234	99,340	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 企画展開催1回あたり経費		千円	1,802	1,684	1,635	

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価				評価区分
	<ul style="list-style-type: none"> ・県民のニーズに応え広く利用してもらうことを目標に、県立文化施設利用者数の目標値をもとに県立歴史館の99,340人程度の利用を目指す。 ・文化財の活用を図るため、収蔵資料等の整理、保存及び調査研究を進める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・常設展観覧者、企画展観覧者はともに増加し、目標99,340人には達しなかったが、利用者数は94,234人と前年度を上回った。 ・冬期利用者の増加が課題であったが、内容(震災関係の展示)・イベントの工夫により利用者を増やすことができた。(H22比20.6%増) ・来館者アンケートを行った結果、歴史館について良い印象の評価をした者は74%に及んだ。 ・木製品整理・保存処理については、23年度予定(約4,000点)処理を全て行った。また、行政関係文書・古文書等の整理を行い、目録を発行するなどして一般に公開した。 以上により期待どおりであった。 				b 期待どおり

事業の課題	区分		判定・説明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県全体を網羅する歴史博物館・公文書館として、県土の歴史・文化の紹介、教育施設として小中高校との連携、歴史資料の収集整理保存、調査研究、活用などが求められている。 ・観光との連携や県民との協働、文化交流拠点としての活動などの事業を進める余地がある。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理経費の見直しや、魅力ある企画展など事業内容の工夫が求められている。 ・長野県の文化拠点として地域や人のネットワークづくりに努め、地域活動との連携・ボランティアの活動分野を広げるなどサービス向上を図る。 ・観光部や様々な組織・施設と連携し、多様な人々が訪れるよう充実を図る。 ・PR方法を工夫し、入館者増等の対策を実施する。 				
	特記事項	平成23年度信州型事業仕分け実施事業				